

矢作町三区 山車の継承「魂をひく」



矢作三区には、江戸後期から継承されている山車があります。正面には唐破風屋根を二重に作り、これに諸種の彫刻をはめ、金銀の箔を押して、華麗荘厳実は大形な三河仏壇のようです。破風上に楠公訣別、下段には飛龍、力士の彫刻があり、最も人目を引きまします。山車の両側と背面には猩々緋(しょうじょうひ)の幕が垂れ、黒地に竜を刺繍した水引を張り、その刺繍には金銀糸を用い、眼に玉をはめ、爪に銀板を貼ってあります。

この山車は、隔年10月の第一土曜日に曳行しており、今年は曳行の年にあたり、10月4日に矢作の町を曳行します。曳行には、山車保存会と一般の方や子供達も山車を曳きます。是非学区の皆さんも私たちと一緒に山車を曳いてみませんか。

再来年は、二区の山車と合同で曳行する予定です。
(三区 林)

◆今後の主な行事予定

- 9月28日(日) 矢作東学区防災訓練【矢作東小学校】7:00～10:00
- 10月19日(日) 子ども会ドッジボール大会【矢作東小学校】※友愛訪問 10月20日～26日
- 11月02日(日) 学区民運動会【矢作東小学校】8:30～12:00
- 11月16日(日) 学区文化祭【やはぎかん】9:30～11:20 ※矢作東小学芸会 11月26日

国勢調査

◆国勢調査は、日本に住んでいるすべての人と世帯を対象とした、日本で最も重要な5年に一度の統計調査です。結果は、公正で効率的な行政運営(衆議院の小選挙区の決定など)行政上の施策(子育て支援の施策・高齢者福祉対策・防災計画の策定・都市交通計画など)に利用されるとともに、さまざまな基礎データとして利用されています。「国勢調査員」が皆様のご自宅を訪問しますのでご協力をお願いします。

赤い羽根共同募金

◆共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の課題解決のための「支える人を支える募金」として取り組まれています。

この「矢作東学区福祉だより」は、学区住民のみなさまにご協力いただいた赤い羽根共同募金の一部を財源に発行しております。なにかご意見があれば、下記の連絡先までご連絡ください。

福祉だより発行団体: 矢作東学区福祉委員会広報部 携帯 090-1743-5141 (部長 石川)

No. 68

2025年9月20日発行

矢作東学区福祉だより

友愛訪問

～「こんにちは！お元気ですか！」～

7月6日(日)矢作町二区地内にて 友愛訪問と見守り隊の合同活動を行いました。

厳しい暑さの中、熱中症にならない様に3つのポイント(暑さに負けないからだ作り、こまめに水分補給、暑さを避ける)を説明しながら、最近の体調や出来事等伺いました。

特に、一人暮らしの方には、LINE・電話で定期的にコミュニケーションを図っています。

また無理をせず、体調を見ながら、外に出る等引きこもりにならない様に、お話をさせて頂き、貴重な時間を過ごすことができました。(二区 山中)



バンビの会

～第4回バンビの会へ参加して～

7月18日(金)10時から、やはぎかん第1活動室においてバンビの会が開催されました。

講師の山崎先生、太田先生をお招きし、12組27人のママ、パパそして2歳以下の子どもたちが手形アート作品作りに挑戦しました。

ママもパパも悪戦苦闘した結果、素晴らしい作品が出来上がりました。

楽しい時間は、あっという間に過ぎ去って行きました。

来年も参加をお待ちしております。
(寿連合会 溝上)



子ども食堂

～始まったよ8月第一日曜日に学習支援～

皆さんこんにちは、私達の子ども食堂「友遊夕のYou」も地域の皆様に愛されて6年目を迎える事が出来ました。

当初はコロナで思うような活動が出来ませんでしたが、8月から第一日曜日に変わり、会場も広く明るくなりました、当初から学習支援を行いたいと思っていましたので、とても嬉しい気持ちです。

講師は元学校の先生が務めて頂き、とても和気あいあいと学習が出来ました、午後のひと時、高齢者の皆さん、子ども達に今まで培って来た事を教えて欲しいです、待っています。(代表 鈴木)



初めにトランプマジック、続いてコインマジック、扇子の中から小銭が出てくる度に大きな歓声が。次のロープマジックは、切ったはずがつながっていたり、ジャンボトランプカードでは、カードが移動してエースばかりがそろっていたりで、息つく間もなく様々なマジックを拝見しました。

途中で、太極拳の演武の鑑賞。その後、マジックでは、絵に描いたにわとりから卵が生まれ、それを帽子の中へ入れて参加者がかぶると消えてしまいました。最後にカラフルスカーフが繋がったり離れたりと不思議、参加者44名は、矢作マジッククラブ 7 名のみなさんの、個性的な楽しいマジックに魅了されていました。(三区 伊與田)



マジックショーに目が離せません

暑い夏の日、今月は矢作神社川喜田宮司による「矢作神社の歴史-神社のモノを中心に-」です。近くに在りながらその歴史について知る機会もあまりない中、その由緒は315年ごろ、主祭神は素戔鳴尊(すさのをのみこと)、日本武尊(やまとたけるのみこと)率いる矢作部(やつくりべ)に矢を作らせたことから社号を矢作神社とし、この辺り一帯を矢作と呼んだこと等々、飛鳥時代から奈良平安、鎌倉、室町、安土桃山、江戸、明治、大正、昭和、平成、令和の時代までも歴史とともに「モノ」を皆さんと一緒に知る貴重な体験となりました。(四区 松浦)



過去から未来へ、想いを紡ぐ

6月29日(日)第33回矢作東学区親睦ソフトミニバレーボール大会が開催されました。今年も男女 92 名の参加者が集まり、素晴らしい熱戦を繰り広げました。

みなさん、仲間で助け合いながら、練習の成果を十分に発揮しました。

各町区大声援をあげて例年以上の盛り上がりを見せ、親睦を深めることができました。

結果は、常勝四区を破り、優勝は二区、準優勝三区、3位に五区が輝きました。

(スポーツ推進 林)



試合の様子(矢作東小学校体育館)



矢東寿クラブ連合会第 1 回 日帰り旅行を開催しました。

6 月 27 日(金)快晴の中、三重県方面に出かけました。参加者は 41 名、最初の見学は地元の観光案内ボランティアガイドさんの案内で御城番屋敷を見学後、松阪城跡の本居宣長記念館では宣長の功績が展示されていました。

宣長の書斎の鈴屋を見たのち、昼食の地へ移動して松阪牛のすき焼きを昼食で頂きました。

見学最後に椿神社を訪れ、帰路につきました。(寿連合会 溝上)



地域包括支援センターは、地域のみなさんの暮らしを支える身近な相談窓口です。健康や介護、日常生活でのちょっとした心配ごとまで、幅広くご相談いただけます。介護保険の申請やサービス利用についても専門職が丁寧に対応し、高齢の方が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう支援しています。地域のみなさんと共に、支え合えるまちづくりを進めています。

営業時間:月～土曜日、9～17 時

休み:日、祝日(敬老の日除く)、年末年始

(センター長 杉浦)



夏休みも終わりに近づいた 8 月末、子ども会でラジオ体操を行う町区もありました。生活のリズムが変わりやすい夏休みですが、朝早くから元気いっぱいラジオ体操に取り組む子どもたちの姿が見られました!

また、学区子ども会では 10 月にドッジボール大会、11 月に学区ふれあい広場を矢東小にて行います。子どもたちが楽しく参加できるよう、企画・運営をしていきたいと思ひます。

(学区子ども会 白井)



私たちの町を守るために、消火訓練や救命講習などを通じて、防災力向上に努めています。火災や地震、風水害発生時は、消防署員のサポートなど防災活動に参加します。

近年、懸念される災害は、一人でも多くの防災力が非常に重要です。

お仕事やご家族との時間を優先して、空いた時間で構いません。

ぜひ一緒に、町の防災力を高める活動に参加しませんか?

お問い合わせ先 : 矢作消防団第一部

部長 安江 090-5617-8294